

# 秦野市民の日ディスプレイ実演会

企画広報委員会

秦野市でたばこ祭りに続く大イベント『第40回秦野市民の日』で、2018年に引き続きディスプレイ実演会を秦野市ごみ削減対策室のテントにて、上下水道局営業課に協力して実施しました。

## 1. 「第40回秦野市民の日」について

秦野市民の日は市民活動支援課が窓口となり、約140の自治体や市民団体のテントが市民文化センター、市民総合体育館の駐車場や広場、市内を流れる水無川の河岸に並び、ステージでのパフォーマンスや消防パレード等が行われる秦野市の一大イベントです。

秦野駅前から無料シャトルバスが利用でき、昨年と同様の11月3日10:00~15:00で開催されました。

今年のディスプレイ実演場所は昨年と異なり、秦野市ごみ削減対策室のテントで生ごみ処理機やコンポスターの隣で実施いたしました。

## 2. 実演状況

ディスプレイは安永クリーンテックさんとテラルさんの製品を用いて、見学者にもわかりやすいように、人参を破碎し透明配管を流れる様子を見ていただきました。また、ディスプレイは通路側に向け、来場者自らディスプレイを操作いただくようにし、破碎機構が異なるマックスさんのディスプレイも実機を置いて触っていただけるようにいたしました。

さらに、昨年の教訓から来場者はお子様ずれのご家族が多いことが予想されたことから、お子様用のノベルティーを準備し、昨年並みの80回の実演用入参と160部の資料を用意いたしました。

## 3. 実演結果

実演場所がメイン会場の動線となっていたこともあり、実演会来場者は昨年の160名の30%増しである206名に上り、実演回数も90回を超え、破碎する人参がなくなり急遽ミカンの皮を破碎するほどの大盛況となり、配布資料は130部に達しました。

今年の来場者からの質問が「自宅は設置可能か」、「助成金の申請方法はどうか」など具体的なものが多く、ディスプレイの認知度が向上してきた手ごたえを感じました。また、秦野市では助成金を引き上げたことが好評で、その場で現場調査依頼が5件入りしました。

今回は、秦野市市長や上下水道局営業課長等の市幹部にも実演会を見ていただき、役所内の認知向上も感じられました。

当協会としては、可能な限りこのような自治体連携の認知活動を継続し、直投ディスプレイ実施エリアで正しくディスプレイを設置し使用いただけるよう実演活動を展開して参ります。



市民の日メインステージ



実演テント



ディスプレイ実演